



平成29年(2017年)

6/20

第1437号

市報

こだいら



ぶるペー



携帯電話用



スマートフォン用



議会の人事決まる

議長滝口幸一氏

副議長津本裕子氏……………2面

健診・検診を受けましょう……3面

市内商店会

イベント・セール……………5面



農 畑が近いと旬が揃う のあるまち こだいら

住宅と隣り合わせの場所で300年以上続く畑を守っている小野義雄さん、幹雄さん親子。新鮮でおいしい野菜を届けてくれる小平の身近な生産者の思いに触れてみました。

土作りからこだわって

「自分たちがおいしいと思うものを作りたい」
小平で野菜を作り続けて40年になる小野義雄さんが特に大切にしているのは土作り。ナラやクヌギの葉を集めて堆肥を作ります。こうした堆肥を使った土は水はけがよく、根の張りのよい健康な野菜が育ちます。

お客さんがほしいものを

小野さんの畑で育つ野菜は常に20種類以上。
「地方の農家と違い、近所の人がお客さんだから、いつも多品目を栽培している。お客さんがほしい野菜を作れることは、畑と住宅が隣り合う小平の農業ならでは」と小野さんは話します。



こだわりの堆肥は空気を含んでふかふか

顔が見えるから低農薬で

「形は悪いけれど、低農薬の野菜がおいしいと言ってくれる」
市場などに出荷する野菜は、不揃いでは使えないと言われてしまいますが、小野さんの直売所は直接顔を合わせて販売しているので、お客さんは納得して買ってくださるそうです。そして多品目を作っていることがここでも生きてきます。
「キャベツだけ作っているのと違い、トマトやなすの間にキャベツを作っているの、キャベツを食べる虫に見つけにくい」
土にこだわり、低農薬で育てられた小野さんの野菜たちは、やわらかく甘みがあります。小平だからこそ食べられる味。今日も大切に作られています。



直売所ではなすやとうもろこしなどが並ぶ

夏は地元で農業体験

親子 こだいら農業ふれあいツアー

近くても意外と知らない小平の農業。バスで市内の農家を回って、旬な野菜の収穫や寄せ植え体験、ブルーベリー摘みを体験してみませんか。

とき 7月17日(月・祝) 午前8時15分～午後2時
集合 午前8時15分 JA東京むさし小平ファーマーズ・マーケット

費用 大人1,000円、子ども500円
対象 市内在住・在勤の小学生以上の子どもと保護者
定員 80人(約40組)
主催 JA東京むさし、小平市都市農政推進協議会
協賛 小平市観光農業協会、小平市農業経営者クラブ
後援 小平市

申込み 6月30日(金)まで(消印有効)に往復はがきに「農業ふれあいツアー参加希望」と明記し、全員の住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入のうえ、問合せ先へ(申込み多数の場合は抽選)

問合せ JA東京むさし小平支店指導経済課(〒187-0032 小川町2-1827) ☎042(348)7244

